

## 船越小学校収穫祭

11月14日(水)、男鹿市立船越小学校で収穫祭が開催されました。参加した5年生は5月に田植え作業、10月に稲刈り作業を体験しており、学習田で収穫した「あきたこまち」を使ってだまこ鍋とおにぎりを作りました。鍋から比内地鶏スープのおいが漂つてくると、児童の視線は鍋に釘付け。「いただきます」の号令とともに、待望の新米を味わいました。

自身が手掛けた米を味わった児童は「米作りにはたくさん苦労があることを知った。今まで以上に米がおいしく感じた」と笑顔を見せていました。児童が収穫した米は、今後の調理実習などの授業でも使用していく予定です。

## 第39回花の祭典

11月17日(土)と18日(日)の2日間、秋田拠点センターアルヴェで第39回花の祭典が行われました。ダリアや菊をはじめとした県内各地の花きやフラワーアレンジメントが数多く並び、会場を彩りました。当J A管内からは佐々木善明さんが秋田市長賞、奈良隆逸さんが市議会議長賞、伊藤渉さんが県花き連会長賞、佐藤ミサ子さんが秋田花の国づくり推進協議会長賞に輝き、訪れた人々の目を引きつけていました。展示されたフラワーアレンジメントのなかには、夏の甲子園での金足農業高校の活躍をモチーフにしたものが多く見られました。

だまこ鍋作りを楽しむ児童



色とりどりの花が並んだ会場



## NEWS & TOPICS

## アリフィン・タスリフ駐日インドネシア大使来訪

10月22日(月)と23日(火)の2日間、アリフィン・タスリフ駐日インドネシア大使が秋田を訪れ、当J A管内を視察しました。

大使は23日(火)に秋田市山王のさきかけホールで講演会を行い、秋田とインドネシアとの農業や教育面での連携に意欲を示しました。同講演会には当J Aがダリアを使ったフラワーアレンジメントを提供し、会場を彩りました。

その後、大使一行は秋田市雄和を訪れ、地元農家や牛舎を視察しました。肥料関係企業の社長を務めた経験があるタスリフ大使は、日本の肥料や農薬に興味深い様子で質問を繰り返していました。視察後は日本の家庭料理を堪能しながら、J A役員や地域の農家との交流を深めました。



01 牛舎を見学するタスリフ大使

02 講演を行う大使と当J Aが提供した

フラワーアレンジメント

03 食卓を囲む大使ら

